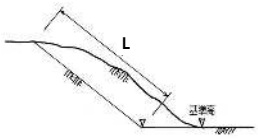
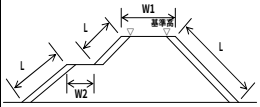
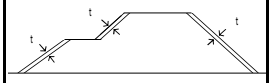
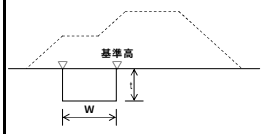
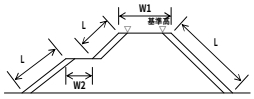
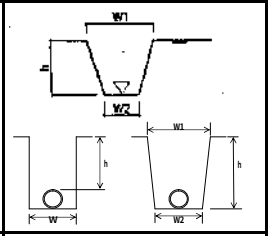
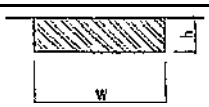
第２章　公園緑化土木工事出来形管理基準

１.出来形管理基準

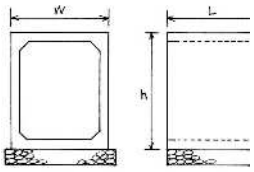
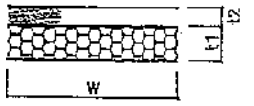
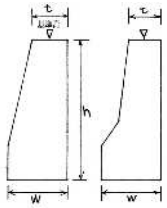
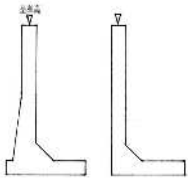
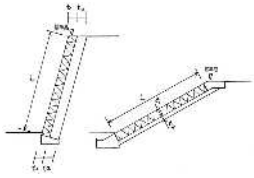
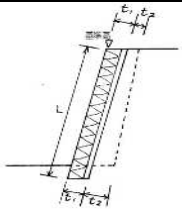
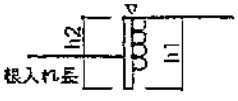
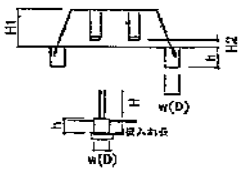
(1) 出来形は、測定項目及び測定基準により実測し、その測定値が全て規格値の範囲内にあること。

(2) 測定の平均値は、設計値以上であること。

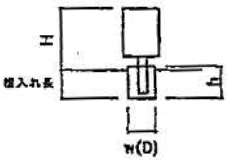
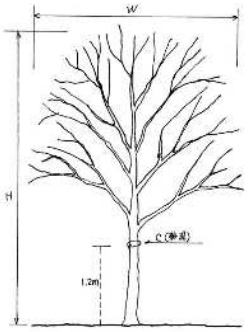
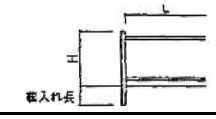
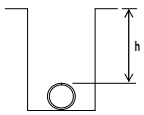
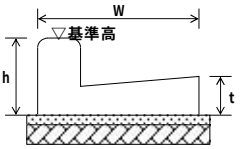
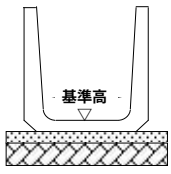
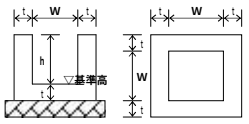
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用
基盤整備	敷地造成工	表土保全工	表土掘削	㎥	法長 L L＜5m	-200	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 施工面積1000㎡につき1箇所、面積1000㎡以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					法長 L L≧5m	法長の -4%		
					深さ h	-30		
		掘削工	掘削押土工 掘削押土敷均し工 掘削積込工 掘削工	㎥	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。	
					法長 L L＜5m	-200		
					法長 L L≧5m	法長の -4%		
		盛土工	敷均し締固め工 敷均し工 締固め工	㎥	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 施工面積1000㎡につき1箇所、面積1000㎡以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は各法肩または施工面積のほぼ中心と各法肩で測定する。	
					法長 L L＜5m	-100		
					法長 L L≧5m	法長の -2%		
					幅 W1,W2	-100		
		法面整形工	盛土法面整形工	㎡	厚さ t	-30	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 法の中央で測定する。	
		路床安定処理工	安定処理工	㎥	基準高 ▽	±50	延長40m毎に1箇所の割で測定する。 基準高は中央部及び端部で測定する。 施工面積1000㎡毎につき1箇所で測定する。	
					施工厚さ t	-50		
					幅 W	-100		
					延長 L	—		
	植栽基盤工	盛土工	敷均し締固め工 敷均し工 締固め工	㎥ ㎥ ㎥	基準高 ▽	±50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（同50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 施工面積1000㎡につき1箇所、面積1000㎡以下のものは1施工箇所につき2箇所 基準高は各法肩または施工面積のほぼ中心と各法肩で測定する。	
					法長 L L＜5m	-100		
					法長 L L≧5m	法長の -2%		
					幅 W1,W2	-100		
		透水層工	開渠排水工	m	基準高 ▽	±30	幅、高さについては施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長については1施工箇所毎。	
					幅 W	-50		
					高さ h	-30		
					延長 L	—		
			暗渠排水工	m	幅 W1,W2	-50		
					高さ h	-30		
					延長 L	—		
		土層改良工	普通耕 深耕 土壌改良 施肥	㎡	幅 w	-100	耕転タイプ毎につき1ヶ所。 施工面積1,000㎡につき1ヶ所。面積1000㎡以下のものは、施工個所につき2ヶ所。	
					深さ h	-50		
	法面工	編柵工	編柵工	m	高さ h	±30	1ヶ所／1施工箇所 施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					延長 L	—		
		植生工	種子吹付工 客土吹付工 植生ネット工 種子帯工 張芝工 筋芝工 人工張芝工 植生穴	㎡ m	切土法長 L＜5m L≧5m	-200 法長の-4%	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（同50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					盛土法長 L＜5m L≧5m	-100 法長の-2%		
					延長 L	—		

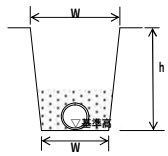
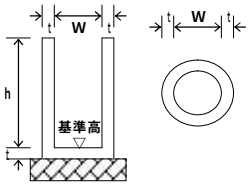
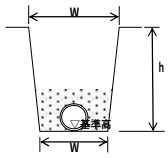
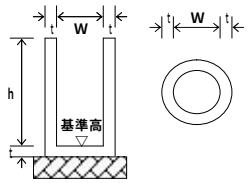
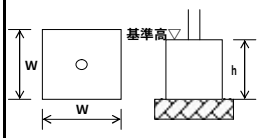
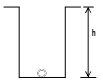
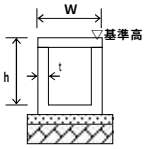
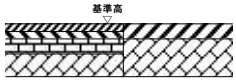
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	単位	測定項目		規格値(以内) 特記なき単位は㎜	測定基準	適用
	法面工	かご工	じゃかご ふとんかご	㎡ m	幅　w 高さ　h				
基盤	公園カルバート工	プレキャストカルバート工	プレキャストカルバート工	m	本体	基準高　▽	±30	施工延長40m（測点25mの場合は50m）につき一箇所、延長40m（又は50m）以下のものは１施工箇所につき２箇所 ※印は現場打部分のある場合ただし、延長については、１施工個所毎。	
						※幅　W	-50		
						※高　h	-30		
						延長　L	―		
基盤整備	擁壁工	現場打擁壁工 小型擁壁工	公園基礎材 公園均しコンクリート	㎡	幅　w		設計値以上	施工延長40m（測点50mの場合は50m）につき一箇所、延長40m（又は50m）以下のものは１施工箇所につき２箇所	
					厚さ　t１　t２		設計値以上		
					延長　L		各構造物の規格値による		
			現場打擁壁工		本体	基準高　▽	±50	施工延長40m（測点25mの場合は50m）につき一箇所、延長40m（又は50m）以下のものは１施工箇所につき２箇所ただし、延長については、１施工箇所毎。	
						厚　t	-20		
						幅　W	-30		
						高さ　h＜３m	-50		
						高さ　h≧３m	-100		
						延長　L	―		
		プレキャスト擁壁工	プレキャストＬ型擁壁工 プレキャスト逆Ｔ型擁壁工	m	本体	基準高　▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき１箇所、延長40m(同50m)以下のものは１施工箇所につき２箇所。 ただし、延長については、１施工箇所毎。	
						延長　L	―		
		コンクリートブロック工	コンクリートブロック積工 コンクリートブロック張工 天端コンクリート工	箇所	本体	基準高　▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき１箇所、延長40m(同50m)以下のものは１施工箇所につき２箇所。 厚さは上端部及び下端部の２箇所を測定	
						法長 Ｌ＜３m	-50		
						Ｌ≧３m	-100		
						長さ ｔ１（ブロック積・張り）	-50		
						ｔ２（裏込め）	-50		
						延長　L	―		
		緑化ブロック工	緑化ブロック積工 天端コンクリート工	箇所	同上			同上	
		石積工	石積工 石張工	箇所	同上			同上	
			崩れ積工	箇所	本体	基準高　▽	±100	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき１箇所、延長40m(同50m)以下のものは１施工箇所につき２箇所。 厚さは上端部及び下端部の２箇所を測定	
						法長 Ｌ＜３m	-50		
						Ｌ≧３m	-100		
						厚さ ｔ１（石積・張り）	-50		
						ｔ２（裏込め）	-50		
						延長　L	―		
	擁壁工	土留め工	土留め工	m	基準高　▽		±50	施工延長40m（測点感覚25mの場合は50m）につき１ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは１施工箇所につき２ヶ所。　１施工箇所毎	
					高さ　h		-50		
					根入れ長		設計値以上		
					延長　L		―		
	施設等移設工	移設工	遊具移設	基	設置高さ　H1　H		±30	１箇所／１基 基礎１基毎	
					基礎	幅　W（D）	-30		
						高さh	-30		
						根入れ長	設計値以上		

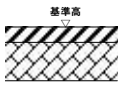
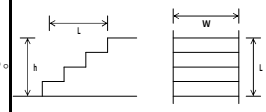
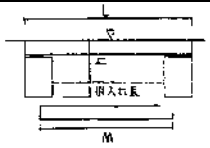
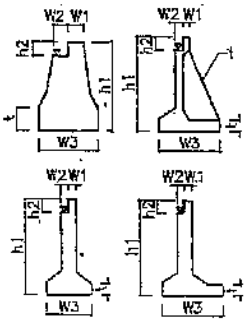
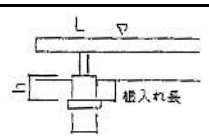
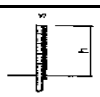
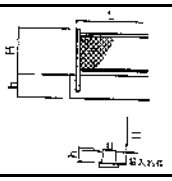
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	2	3	4	単位	測定項目		規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用
植栽	施設等移設工	移設工	工作物移設	基	設置高さ H		設計値以上	1箇所／1基 基礎1基毎	
					基礎	幅w	-30		
						高さh	-30		
						根入れ長	設計値以上		
	植栽工	高木植栽工	樹木(高木)	本	［幹周表示有］ 樹高（H） 定められた寸法値≦H 幹周（C） 定められた寸法値≦C＜上位階級の寸法値 枝張（W） 定められた寸法値≦W ［幹周表示無］ 樹高（H） 定められた寸法値≦H＜上位階級の寸法値 枝張「葉張」（W） 定められた寸法値≦W			1本毎に測定する。	※定められた寸法値の上限は上位階級の寸法値を目安とする。 
		中低木植栽工	樹木(中低木)	本				100本毎に測定する。	
		特殊樹木植栽工	樹木(特殊樹木)	本				1本毎に測定する。	
		樹木養生工	防風ネット工	本	高さ h		±30	40mに1箇所(40m以下は2箇所)で測定する。	
					長さ L		—		
			根囲い保護工	基	設置高さ H		設計値以上	1箇所/1施工箇所毎。	
					根入れ長		設計値以上		
施設整備	給水設備工	水栓類取付工	制水弁工	基	基礎		設計値	1箇所/1基毎に測定する。	
		散水機器工	散水栓ボックス工 散水栓工 スプリンクラー ドリップパイプ	基 基 基 m	基礎		設計値	1箇所/1基毎に測定する。	
					本体	延長 L	—		
		給水管路工	給水管路工 埋設シート工	m	深さ h		-30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					延長 L		—		
施設整備	雨水排水設備工	側溝工	現場打ちL型側溝工	m	基礎	公園基礎材参照		施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長は1施工箇所毎。	
					本体	基準高 ▽	±30		
						厚さ t	-20		
						幅 W	-30		
						高さ h	-30		
						延長 L	—		
			プレキャストL型側溝工 プレキャストU型側溝工 プレキャスト皿型側溝工 自由勾配側溝工 コルゲートフリュム工 側溝蓋工 特殊円形側溝工	m	基準高 ▽		±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長は1施工箇所毎。	
					延長 L		—		
		集水桝工	集水桝工 浸透桝工 オリフィス桝工	基 基 基	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。	
					本体	基準高 ▽	±30		
						厚さ t	-20		
						幅 W	-30		
						高さ h	-30		

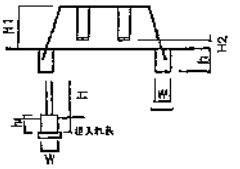
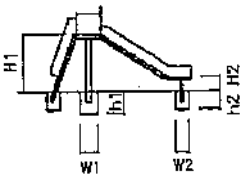
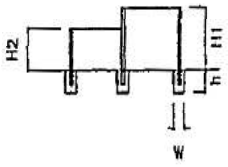
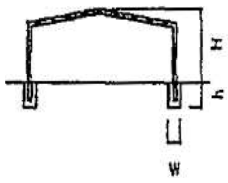
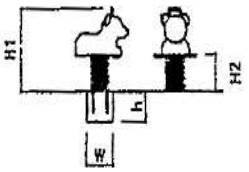
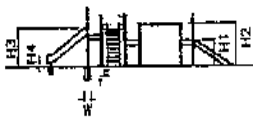
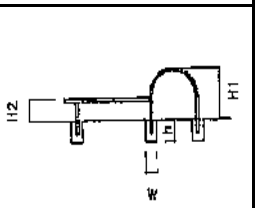
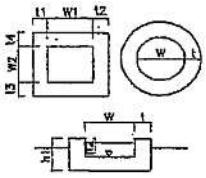
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	単位	測定項目		規格値(以内) 特記なき単位は㎜	測定基準	適用
施設整備	雨水排水設備工	管渠工	コルゲートパイプ ＰＣ管工 陶管・副管工 硬質塩化ビニル管工 プレキャストボックス工 透水管等	m	基準高 ▽		±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長は１施工箇所毎。	
					幅 W		-		
					高さ h		-		
					延長 L		―		
		マンホール工	マンホール工 公園マンホール工 浸透マンホール工	基	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。	
					本体	基準高 ▽	±30		
						厚さ t	-20		
						幅 W	-30		
						高さ h	-30		
	汚水排水設備工	管渠工	コルゲートパイプ工 ＰＣ管工 陶管・副管工 硬質塩化ビニル管工	m	基準高 ▽		±30	人孔(桝)で測定する。 施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長は１施工箇所毎。	
					幅 W		-		
					高さ h		-		
					延長 L		―		
		汚水桝工	汚水桝工	基	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。	
					本体	基準高 ▽	±30		
						厚さ t	-20		
						幅 W	-30		
						高さ h	-30		
		マンホール工	マンホール工 公園マンホール工	基	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。	
					本体	基準高 ▽	±30		
						厚さ t	-20		
						幅 W	-30		
						高さ h	-30		
	電気設備工	受変電設備工	引込柱工 分電盤工 照明灯 スピーカー柱	基	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。	
					本体	基準高 ▽	設計値以上		
						幅 W	-30		
						高さ h	-30		
						根入れ長	設計値以上		
		電線管路工	電線管工 ケーブル工 埋設シート工	m	本体	高さ h	-30	40mに1箇所(40m以下は2箇所)で測定する。	
						延長 L	―		
		照明設備工	ハンドホール工	基	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。	
					本体	基準高 ▽	設計値以上		
						幅 W	-30		
						高さ h	-30		
						厚さ t	-20		
	園路広場整備工	舗装準備工	路床工	㎡	基準高 ▽		±40	基準高、幅は延長40m毎、厚さは200㎡毎に測定する。	
					幅 W		-50		
					厚さ t		-45		
		アスファルト舗装工・排水性舗装工	下層路盤	㎡		個々の測定値（X）	10個の測定値の平均（X_10）	路盤が1層の場合は、下層路盤の規格値を適用する。 設計図書で幅員の設定がないものについては、幅の規格値は適用しない。 基準高、幅は延長80m毎(路盤が1層の場合又は2層の場合の下層路盤については40m毎)、厚さは1000㎡毎に1箇所を掘り起こして測定する。 なお、基層、表層の厚さについては、1000㎡に1箇所の割で、コアー採取により測定するものとする。	工事規模の考え方 中規模以上とは、1層当りの施工面積が2000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層のアスファルト混合物の総使用量が500t未満、あるいは施工面積が2000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足するとともに、10個の測定値の平均値(X_10)について満足しなければならない。 ただし、厚さのデータ数が10未満の場合は、測定値の平均値は適用しないものとする。
						中規模以上 小規模	中規模以上		
					基準高 ▽	±40 ±50	―		
					厚さ t	-45	-15		
					幅 W	-50	―		
			上層路盤	㎡	厚さ t	-25 -30	-8		
					幅 W	-50	―		
			基層	㎡	厚さ t	-9 -12	-3		
					幅 W	-25			
			表層	㎡	厚さ t	-7 -9	-2		
					幅 W	-25			
					平坦性	3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ(δ)2.4mm以下 直読式(足付)(δ)1.7mm以下			

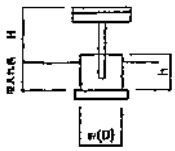
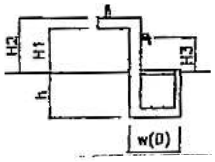
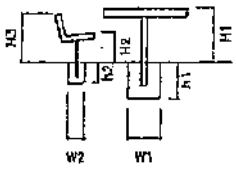
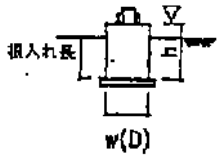
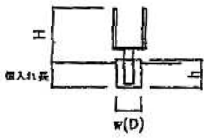
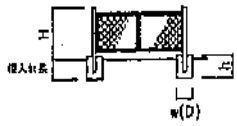
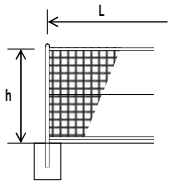
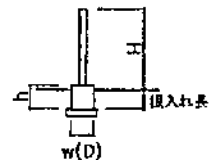
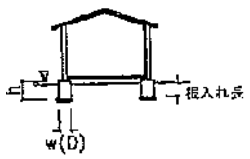
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	単位	測定項目			規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用
施設整備	園路広場整備工	園路広場舗装工	アスファルト系園路工 コンクリート系園路工 土系園路工 レンガ・タイル系園路工 樹脂系園路工 石材系園路工 砂利舗装 砕石舗装 玉石張舗装 小舗石舗装 切板石張舗装	㎡	路盤		個々の測定値（X） 中規模以上 / 小規模	10個の測定値の平均（X_10） 中規模以上	設計図書で幅員の設定がないものについては、幅の規格値は適用しない。 基準高、幅は延長40m毎、厚さは1000㎡毎に1箇所を掘り起こして測定する。 なお、表層の厚さについては、1000㎡に1箇所の割で、コアー採取により測定するものとする。	工事規模の考え方 中規模以上とは、施工面積が2000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層のアスファルト混合物の総使用量が500t未満、あるいは施工面積が2000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足するとともに、10個の測定値の平均値(X_10)について満足しなければならない。 ただし、厚さのデータ数が10未満の場合は、測定値の平均値は適用しないものとする。 
						基準高▽	±50	―		
						厚さ t＜150	― / -30	-10		
						t≧150	― / -45	-15		
						幅 W	-100	―		
					表層	厚さ t	-10			
						幅 W	-25			
		園路縁石工	園路縁石工	m	基礎	公園基礎材参照			1箇所/1施工箇所毎に測定する。	
					本体	幅 w		-10		
						厚さh		-10		
		区画線工	区画線	m	厚さ t（溶融式のみ）			設計値以上	各線種毎に1箇所、テストピースにより測定。各線種毎に幅測定	
					幅 W			設計値以上		
					延長 L			―		
		階段工	コンクリート階段工 コンクリートブロック階段工 擬石階段工 自然石階段工 丸太階段工 擬木階段工	箇所・段	基礎	公園基礎材参照			箇所/1施工箇所毎に測定する。	
					本体	n		-30		
						高さ h		-30		
						長さ L		-30		
						段数		±0段		
					階段高さ調整			設計値		
		公園橋工	公園橋設置 八ツ橋 石橋 木橋	m・箇所 m m	基準高 ▽			±30	1箇所/1施工箇所毎に測定する。	
					高さ h			±30		
					幅 W			-30		
					延長 L			―		
					根入れ長			設計値以上		
			公園橋橋台	m・箇所	基準高 ▽			±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所で測定。	
					擁壁の厚さ t			-20		
					天端幅(橋軸方向) W1			-10		
					天端幅(橋軸方向) W2			-10		
					軸幅（橋軸方向） W3			-50		
					高さ h1			-50		
					胸壁の高さ h2			-30		
					天端長 L1			-50		
					敷長 L2			-50		
					胸壁間距離 L			±30		
					支点長及び中心線の変位			±50		
		デッキ工	デッキ基礎 デッキ設置	㎡基	基準高 ▽			±30	箇所/1施工箇所毎に測定する。	
					高さ h			-30		
					幅 W			-30		
					根入れ長			設計値以上		
		視覚障害者誘導用ブロック工	視覚障害者誘導用ブロック工 視覚障害者誘導用シート工 視覚障害者誘導用タイル工	㎡	幅 W			-25	施工延長40m毎に1箇所(40m以下は2箇所)で測定する。	
					厚さ t			-9		
	修景施設整備工	袖垣・垣根工	袖垣工 垣根工	m	高さ h			±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。	
					延長 L			―		
		トレリス工	トレリス工 緑化フェンス	m	基礎	公園基礎材参照			1箇所/1施工箇所毎に測定する。	
					本体	高さ h		±30		
						延長 L		―		
						根入れ長		設計値以上		

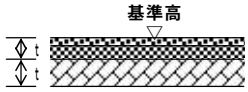
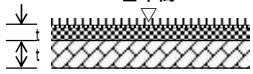
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	単位	測定項目		規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用
施設整備	遊戯施設整備工	遊具組立設置工	ブランコ	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。基礎1基毎。	
					基礎	高さ h	±30		
						幅 w	-30		
						根入れ長	設計値以上		
		遊具組立設置工	滑り台	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。基礎1基毎。	
					基礎	高さ h	±30		
						幅 w	-30		
						根入れ長	設計値以上		
		遊具組立設置工	鉄棒	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。基礎1基毎。	
					基礎	高さ h	±30		
						幅 w	-30		
						根入れ長	設計値以上		
		遊具組立設置工	ラダー	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。基礎1基毎。	
					基礎	高さ h	±30		
						幅 w	-30		
						根入れ長	設計値以上		
		遊具組立設置工	スプリング遊具	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。基礎1基毎。	
					基礎	高さ h	±30		
						幅 w	-30		
						根入れ長	設計値以上		
		遊具組立設置工	複合遊具	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。基礎1基毎。	
					基礎	高さ h	±30		
						幅 w	-30		
						根入れ長	設計値以上		
		遊具組立設置工	健康遊具施設	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。基礎1基毎。	
					基礎	高さ h	±30		
						幅 w	-30		
						根入れ長	設計値以上		
		砂場工	砂場工	箇所基	基準高 ▽		±30	箇所/1施工箇所毎に測定する。	
					幅 W		-30		
					厚さ t		-20		
					高さ h		-30		

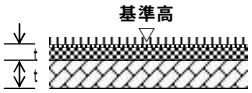
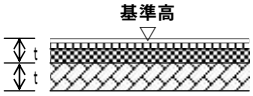
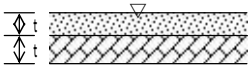
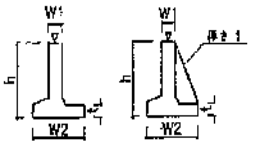
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	単位	測定項目			規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用
	サービス施設整備工	時計台工	時計台工	基	設置高さ H			設計値以上	1箇所/1基毎に測定する。	
					基礎	幅 w		±30		
						高さ h		-30		
						根入れ長		設計値以上		
		水飲み場工	水飲み場工 手洗い場工 足洗い場工	基	設置高さ H			±30	1箇所/1基毎に測定する。	
					基礎	幅 w		-30		
						高さ h		-30		
					根入れ長			設計値以上		
		ベンチ・テーブル工	ベンチ工 スツール工 テーブル工	基	設置高さ H			±30	1箇所/1基毎に測定する。	
					基礎	幅 W		±30		
						高さ h		-30		
						根入れ長		設計値以上		
		サイン施設工	掲示板工 標識工 案内板工 制札板工	基	設置高さ H			±30	1箇所/1基毎に測定する。	
					基礎	幅 w		-30		
						高さ h		-30		
						根入れ長		設計値以上		
	管理施設整備工	ごみ施設工	くず箱工 吸殻入れ工	基	設置高さ H			±30	1箇所/1基毎に測定する。	
					基礎	幅 w		-30		
						高さ h		-30		
						根入れ長		設計値以上		
		門扉工	門扉工	基	設置高さ H			設計値以上	1箇所/1基毎に測定する。	
					基礎	幅 w		-30		
						高さ h		-30		
						根入れ長		設計値以上		
		柵工	外周柵 フェンス工 ロープ柵工 チェーン柵工 木柵工 擬木柵工 手摺り工 高尺フェンス工 防球ネット工	m	設置高さ H			設計値以上	施工箇所40m（測点間25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（同50m）以下のものは、1施工箇所につき2箇所。	
					基礎	幅 w		-30		
						高さ h		-30		
						根入れ長		設計値以上		
					延長 L			—		
		車止め工	車止め 車椅子ゲート	基	設置高さ H			設計値以上	1箇所/1基毎に測定する。	
					基礎	幅 w		-30		
						高さ h		-30		
						根入れ長		設計値以上		
	建築施設組立設置工	四阿工	四阿工	基	基準高 ▽			±30	1箇所/1基毎に測定する。	
					基礎	幅 w		-30		
						高さ h		-30		
						根入れ長		設計値以上		
		パーゴラ工	パーゴラ工	基	四阿工に準じる。				1箇所/1基毎に測定する。	

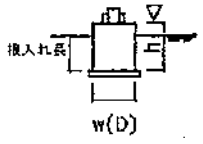
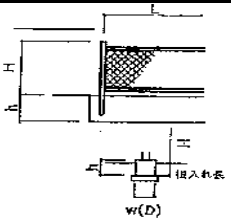
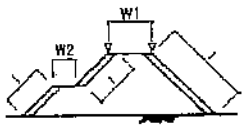
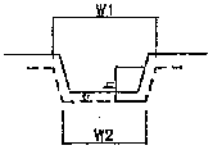
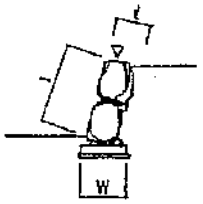
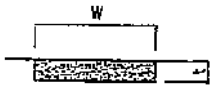
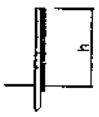
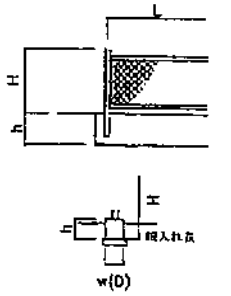
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	単位	測定項目			規格値(以内) 特記なき単位は㎜	測定基準	適用
施設整備	建築施設組立設置		シェルター工 キャビン工 温室工 観察施設工 売店工	基						
			更衣室工 便所工 倉庫工 自転車置場工	基						
グラウンド・コート整備	グラウンド・コート舗装工	グラウンド・コート用舗装工	下層路盤	㎡		個々の測定値（X）		10個の測定値の平均（X_10）	路盤が1層の場合は、下層路盤の規格値を適用する。 設計図書で幅員の設定がないものについては、幅の規格値は適用しない。 基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所の割とし、舗装中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所の割に測定。 なお、基層の厚さについては、1000㎡に1箇所の割で、コアー採取により測定するものとする。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所の割とし、厚さは、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所の割とし、厚さは、施工面積500㎡毎に1個の割でコア-を採取して測定。なお、延長、施工面積が上述の木場以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、表層および表層用混合物の総使用量が、500t以上施工面積が2000㎡以上の場合が該当する。。 小規模工事とは、表層および表層用混合物の総使用量が500t未満、施工面積が2000㎡未満。厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（x 10）について満足しなければならない。 基準高
						中規模以上	小規模	中規模以上		
					基準高 ▽	±40	±50	－		
					厚さ t	-45		-15		
					幅 W	-50				
			上層路盤 中層路盤	㎡	厚さ t	-25	-30	-8		
					幅 W	-50				
			基層	㎡	厚さ t	-9	-12	-3		
					幅 W	-25				
			クレー舗装 アンツーカー舗装	㎡	路盤 基準高 ▽	±50		－	基準高、厚さ、幅は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所掘り起こして測定する。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所測定。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	基準高 
					路盤 厚さ t ＜150	－	-30	-10		
					路盤 t ≧150	－	-45	-15		
					路盤 幅 W	-100				
					表層 厚さ t	-10			幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所、厚さは200㎡毎に1箇所測定する。 厚さは、延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所掘り起こして測定。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	
					表層 幅 W	-25				
					平坦性 テニスコート	±５㎜以内				
					平坦性 陸上競技場	±10㎜以内				
					平坦性 野球場	±20㎜以内				
			天然芝舗装	㎡	路盤 基準高 ▽	±50		－	基準高、幅は40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所測定。 厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所の割で測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	基準高 
					路盤 厚さ t ＜150	－	-30	-10		
					路盤 t ≧150	－	-45	-15		
					路盤 幅 W	-100				
					表層 厚さ	-10			幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割で測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	
					表層 幅	-25				

公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	単位	測定項目			規格値(以内) 特記なき単位は㎜	測定基準	適用
グランド・コート整備	グランド・コート舗装工	グランド・コート用舗装工	人工芝舗装	㎡	路盤	基準高 ▽	±50	―	基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割で測定。厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	
						厚さ t＜150	― -30	-10		
						t≧150	― -45	-15		
						幅 W	-100	―		
					表層	厚さ t	-10		幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割に測定。厚さは200㎡毎に1箇所測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	
						幅 W	-25			
グラウンド・コート整備	グラウンド・コート舗装工	グラウンド・コート用舗装工	全天候型舗装(油脂系) 全天候型舗装(アスファルト系)	㎡			個々の測定値（X）	10個の測定値の平均（X_10）	基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割で測定。厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	
							中規模以上 小規模	中規模以上		
					路盤	基準高▽	±50	―		
						厚さ t＜150	― -30	-10		
						t≧150	― -45	-15		
						幅 W	-100	―		
					表層	厚さ t	-10		幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	
						幅 W	-25			
					平坦性	テニスコート	±５㎜以内	―		
						陸上競技場	±10㎜以内			
			グラウンド・コート砂舗装工 グラウンド・コートダスト舗装工	㎡	路盤	基準高▽	±50	―	基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に１箇所に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	
						厚さ t＜150	― -30	-10		
						t≧150	― -45	-15		
						幅 W	-100	―		
					表層	厚さ t	-10		幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割とし、厚さは、延長200m毎又は、500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、１施工箇所につき２箇所を測定。	
						幅 W	-25			
		縁石工 グラウンド・コート	コンクリート縁石工 舗装止め工 見切材(仕切材)工	m	基礎	公園基礎材参照			1箇所/1施工箇所毎に測定する。	
					本体	幅 w		-10		
						厚さ h		-10		
	スタンド整備工	スタンド擁壁工	スタンド擁壁工	m	基準高 ▽			±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					厚さ t			-20		
					幅 W			-30		
					高さ h＜3m			-50		
					h≧3m			-100		
					延長 L			―		

公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	単位	測定項目		規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用
	グラウンド・コート施設整備工	グランド・コート柵工	ダックアウト工 スコアボード工 バックネット工	基	基礎	設置高 ▽	±30	1箇所/1基毎に測定する。	
						幅 w（D）	-30		
						高さ h	-30		
						根入れ長	設計値以上		
		グラウンド・コート柵工	高尺ネットフェンス工 フェンス工 防球ネット工	m	設置高 ▽		設計値以上	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					基礎	幅 w（D）	-30		
						高さ h	-30		
						根入れ長	設計値以上		
						延長 L	—		
自然育成工	自然育成工	自然育成盛土工	蒔き出し	m3	基準高 ▽		-50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。施工面積1,000㎡につき１箇所、面積1,000㎡以下のものは１施工箇所につき２箇所。基準高は各法肩で測定する。又は、施工面積のほぼ中心と各法肩で測定する。	
					法長	L<5m	-100		
						L≧5m	法長の-2%		
					幅 w		-100		
		自然水路工	遮水・止水シート	㎡	基準高 ▽		-50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					高さ h		-30		
					幅 w		-100		
					延長 L		—		
			ごろた石積 崩れ積	m	基準高 ▽		±100	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					法長				
					L/2＜3m		-50		
					L/2≧3m		-100		
					幅 w		-50		
					厚さ t		-100		
					延長 L		ー		
		自然水路工	砂・礫敷	m	幅 w		ー100	幅は、施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは、施工延長200mにつき1箇所、200m以下は２箇所、中央で測定。又は施工面積1,000㎡に１回	
					厚さ t	t＜15cm	-25		
						t≧15cm	-50		
		しがらみ柵工	しがらみ柵工	m	高さ h		±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					延長 L		ー		
		保護柵工	保護柵	m	設置高さ		設計値以上	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					基礎	幅w（D）	-30		
						高さ h	-30		
						根入れ長	設計値以上		
						延長 L	ー		